

今月も地域おこし協力隊の取り組みを紹介します！

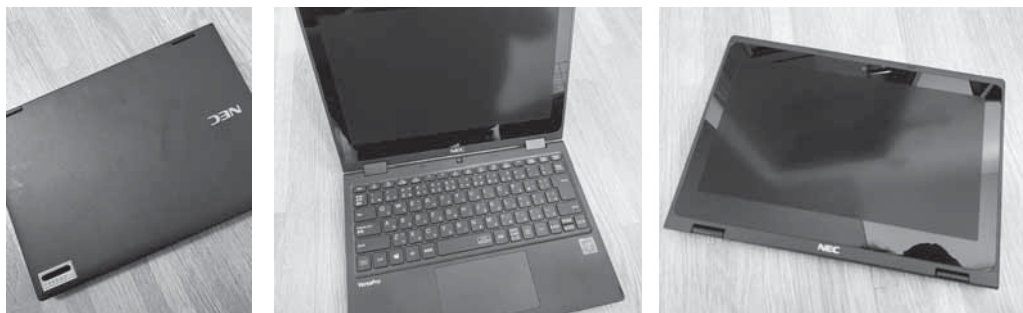
着任して約2か月経ちました。

4月よりICT支援員として着任し、約2か月が経ちました。現在、週各2日ほど小中学校に行っています(残り1日は教育委員会にいます)。

今年度の4月から文部科学省のGIGAスクール構想により、小中学校の児童生徒に1人1台タブレットPCが割り当てられました。ICT支援員としての役割は、PCの使い方や情報通信技術を授業で生徒に教えるだけでなく、先生たちや生徒が授業などでタブレットPCを使用する時に、授業が上手くいくように補助することがメインとなります。

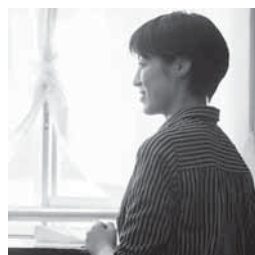
まだGIGAスクール構想がはじまったばかりで、先生や児童生徒も大変ですが、サポートしていきます。

ICT支援員 切岸智紀



今年も、森林環境教育がはじまりました！

NPO法人森の生活では、「下川の林業・林産業の歴史と現在の取り組みを知り、町の将来について考える」が中学校3年間の目標。1年生では、林業の歴史に注目します。5月11日には、ガイダンスと探究テーマをつくるための問いづくり活動が行われ、森の生活の麻生さんが、120歳下川チョーさんに扮し、下川の歴史の一端を語ってくれました。これから札天山資料館や森林組合等をめぐります。どんな探究テーマが設定され学びが深まるのか楽しみです。



未来の学びコーディネーター 本間莉恵



最後の最後まで続く…どうする問題？

A-frame Cabinの構想時から今日までを振り返ると、どれだけ多くのどうする？があったのか、今となってはわからないほど多くありました。でも、こうやって一つひとつの問題と向き合い、多くの人力を借りながら前に進んでくれたことが、自分への力、そして自信へ少しずつ変わってきたように思います。

倉庫で製作したキャビンをどう倉庫からだし、どう移動させるかという最後の大きなどうする？があります。立ち寄ってくださった皆さんが、「何とかなるべ。」と言ってくださるので、その言葉を信じて何とかしたいと思います。移動完了後、また報告をさせていただきます。



シモカワまるごとおもてなし宿・ぐるっとしもかわ 大石 陽介

森のシチューの販売を始めました

駅カフェイチノハシでは森のシチューの販売を始めました。下川町産のフルーツマトとシイタケの子が入ったシチューです。販売に際して早速、試食をしてみました。フルーツマトの酸味が効いたすっきりとした味わいで、朝食のパンやシリアルのお供に合うのではないのでしょうか。クリームシチューがベースですが、低カロリーなのでカロリーが気になる方でも美味しく召し上がれると思います。レジの横の特産品コーナーで販売しています。



駅カフェイチノハシ 山口千明

高校生とブレンド作り

下川商業高校3年生の授業の一環で、「薬草庵」のブレンド薬膳茶を取り扱っていただきました。せっかくなので、高校生のオリジナルブレンドを作成。

「こんな時だから、風邪予防のブレンドにしたい」とリクエストを受け、ハーブや食薬の働きを伝えつつ、自分たちが美味しいと感じるお茶になるよう沢山味見をして選びました。

お茶の名前は「しょうが茶-風邪に負けたくない方へ」エキナセア・乾燥生姜・乾燥なつめ のブレンドです。

今の時期、風邪を引くことが不安ですが、まごころ商品部のメンバーが考えてくれたブレンド茶で、風邪に負けない身体づくりを。6月からケータのケータリングで販売します。ぜひお試しくださいませ。



AROMA&KAMPO薬草庵 塚本あずさ

